



ご当地 **お坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.623

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

June
2021
令和3年

6



Contents

デンタルアイ	1
渡辺 進	
理事会報告	3
会務日誌	4
学術委員会だより	6

表紙写真について

支笏湖

以前に行った北海道旅行の写真です。

(社) 日立歯科医師会 滝 靖宗

すべては委員会活動より



専務理事
渡 辺 進

平成11年4月に茨城県歯科医師会介護保険委員を拝命してから実に長い時間が過ぎました。

現在、茨城県歯科医師会には、学術、厚生、医療管理、広報、総務、地域保健、介護保険、学校歯科、社会保険、情報管理など、10の委員会や小委員会、協議会があります。

歯科医師会に入会した若い先生にはぜひ委員会に出向して活動をお願いいたします。今期で理事を卒業させて頂くにあたり、私事を書かせていただきます。

介護保険委員会に出向したのは22年前の平成11年4月でした。この頃は公益社団法人取得前で、任期は4月からでした。不安もあり、義務感を感じながらも、他の地区の先生方ともお会いでき、自分から見る歯科医師会というものも変わってき始めたと感じています。介護保険委員会には、元会長鈴木先生、元会長志賀先生、元専務梶塚先生が在籍しており、多くのことを学ばせて頂きました。この頃は高速道路（北関東道）もなく、50号線は渋滞していました。然るに抜け道をたくさん知りました。人は必要に基づき新たなものを創造します。

当時、介護保険の多くは手書請求の時代でしたので、国保連合会コンピュータールームと連携して介護保険請求ソフト茨城県版を無料リ

リースさせて頂きました。（このソフトはあまりにDeepな構造で他のソフトに影響を与えかねないなどの理由もあり、あまり使われませんでした。ご存知の方も少ないと思います）このうち国は、介護保険請求用専用PCを全国の歯科診療所に無償提供する事業を行いました。

副委員長を経験し、介護保険担当理事となりましたが、平成18年4月より、鳥山佳則技佐が厚生労働省へお戻りになった後を継ぎ、保健福祉部保健予防課へ、毎週木曜日の午後、嘱託としてお邪魔する事となりました。ここでは県庁の内部構造、県での仕事の流れ、指示系統の流れ、庁議の流れを勉強させて頂きました。これは今でも県との交渉に役立っていると思われます。

その後、地域保健担当理事、常務理事となるのですが、ここでは「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」の制定に、茨城県歯科医師会理事として、茨城県保健福祉部嘱託として仕事をさせて頂きました。条例の中には「フッ化物の応用」や「タバコと歯周病」関連の条文を入れることが出来ました。

またこの間、茨城県歯科保健大会を歯科医師会館で行い、ここでは各種のイベントを地域保健委員会以外の委員会、専門学校の協力のもと

行いました。現在地域保健担当理事の北見先生はじめ、茨歯会6424コーディネータ（現在藤田事業課長）、委員会の先生方と共に「高齢者よい歯のコンクール」を充実し、「噛むかむレシピコンテスト」を新設し、「母と子のよい歯のコンクール」は全国に先駆け、「親と子のよい歯のコンクール」として父親でも応募できる形にいたしました。

4年前から森永会長の元、専務理事を拝命いたしました。専門学校で退職者が相次いでいた経緯があり、職員より直接のヒアリングを当時会計担当常務理事小林先生とともに行いました。改善にあたって参事を新設し専門学校に何日か勤務いただき、新人職員定着のお手伝いをお願いし現在は落ち着いております。この頃は、労働問題で頭を悩ませる事が何件かありました。同時に会館に関する経費の削減を実行しました。

最近の2年はコロナとの戦いでした。マスクとフェイスシールドなどは、確保できたものの

ら会員の皆さんにお送りしました。配布方法に関しては地区会長先生をはじめ地区の皆さんの協力を得ました。中でも会員診療所に18リットル缶のアルコールを無償配布できたことは嬉しい出来事でした。

茨城県歯科医師会より会員支援の一環として、各診療所にアルコール含浸ウェットワイパー120枚入り×24個【ダンボール1箱】を送ることが出来ました。その後は支援金、補助金等の周知に努め、最近では医療従事者優先のワクチン接種などの業務を致しました。厚生委員会の先生方には希望者の名簿集めにご苦勞をいただきました。

そしてこの会報がお手元に届く頃は歯科医師の接種が完了していることを願っています。

最後に今までご指導、ご協力いただいた全ての先生、職員の皆さんに感謝申し上げます。そして若い先生方には、これから積極的に歯科医師会と関わりを持ち、委員会に参加する事を勧めします。

株式会社岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット
**SIGNO
NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、
ワンランク上のラグジュアリー空間と
心地よさを演出します。

■一級名称 岩瀬歯科商会
■販売先 栃木県内全郡市町村
■販売先 栃木県内全郡市町村
■販売先 栃木県内全郡市町村

製造販売・製作
株式会社モリタ東京製作所

本社 栃木県宇都宮市中央区上落合2-1-24 TEL 048-882-1315 大塚本社 大阪府大阪市東淀川区 5-33-18 TEL 06-6380-2525
伊勢工場 埼玉県北足立郡伊勢崎小室 7129 TEL 048-723-2801 東京本社 東京都台東区上野 3-11-15 TEL 03-3834-6181

発売
株式会社モリタ



事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL-03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL-028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL-029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL-047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL-043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL-03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL-0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL-024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL-03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL-03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL-045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL-045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL-027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL-027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL-046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL-048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上壁1-6-5	TEL-019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL-042-590-5770

理事会報告

第1回理事会

日 時 令和3年4月15日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払いについて

(5) 令和2年度県委託事業・補助事業について

(6) 日立市医療福祉費支給制度の拡充について

(7) フッ化物洗口推進事業 県歯科医師会の事業内容（案）

(8) 令和3年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動の協賛について

(9) 令和3年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の後援について

(10) 各委員会報告について

医療管理委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

承認

(2) 第169回定時代議員会の開催（案）について

承認

(3) 令和3年度表彰事業について

会長に一任

(4) 令和3年度日歯生涯研修セミナーについて

承認

(5) 茨城県歯科臨床研修施設の不足問題について

前向きに検討する

(6) JDAT歯科チームの編成について

承認

(7) 歯と口の健康に関するポスターコンクールについて

鶴屋理事に一任

(8) 森永和男先生を囲む感謝と思い出の会併せて旭日小綬章受章を祝う会について

発起人に一任

(9) その他

【今後の行事予定について】

5月20日（木）

10時から 第1回備品等監査

14時から 第1回業務会計監査

16時から 第2回理事会

6月10日（木）

15時から 議事運営特別委員会

16時から 第3回理事会

6月23日（水）

14時から 第169回定時代議員会

18時20分から 第4回理事会

会務日誌

- 4月15日** 第1回理事会を開催。入会申込みの受理、第169回定時代議員会の開催（案）、令和3年度表彰事業、令和3年度日歯生涯研修セミナー、茨城県歯科臨床研修施設の不足問題、JDAT歯科チームの編成、歯と口の健康に関するポスターコンクール、森永和男先生を囲む感謝と思い出の会併せて旭日小綬章受章を祝う会について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか18名
- 4月21日** 第1回社会保険正副委員長会議を開催。第1回委員会、令和3年度の指導立会い、疑義、審査情報、理事会について協議を行った。
- 出席者 榊社会保険部長ほか3名
- 4月21日** 第1回社会保険委員会を開催。疑義、令和3年度指導立会いについて協議を行った。
- 出席者 榊社会保険部長ほか22名
- 4月22日** 第72回関東甲信越静学校保健大会実行委員会設立総会及び第1回実行委員会が県庁舎にて開催され、第72回関東甲信越静学校保健大会大会要項（案）ほかについて協議が行われた。
- 出席者 鶴屋理事
- 4月25日** 本会主催の健康フォーラム「お口からはじまる健やかな人生」を開催。今回は新型コロナウイルスの影響によりWeb開催とし「歯科衛生士に命を救われた内科医からのメッセージ」と題して、にしだわたる糖尿病内科院長の西田亙先生が講演された。（一般県民の方には編集した内容を後日オンライン配信した。）
- その後、Webによるディスカッションを行い、医科歯科連携の重要性を説明いただき、充実した内容のうちに閉会となった。
- 4月25日** 第1回学術委員会を開催。健康フォーラムの反省、第29回歯科医学会誌の校正、学術シンポジウム、栃木県歯科医学会の開催及び演者、第30回歯科医学会について協議を行った。
- 出席者 今湊学術部長ほか9名
- 4月26日** 第10回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWeb会議として開催され、感染拡大に備えた医療提供等体制整備について協議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 4月30日** 第1回地域ケア推進センター連携会議がWeb会議として開催され、各団体における地域包括ケアや在宅医療への取り組みや関わりほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 5月 6日** 第1回講師会を開催（Web参加も可能）。国家試験結果、新入生、次年度入試日程、オープンキャンパス、体験入学日程等について報告を行った。
- 出席者 征矢校長ほか16名（内Web参加6名）
- 5月 6日** 第1回学校運営委員会を開催。令和2年度退任講師（5名）の紹介。国家試験結果、新入

生、次年度入試日程、オープンキャンパス、体験入学日程等について報告。

出席者 森永会長ほか11名

- 5月 6日 第1回学校関係者評価委員会を開催（Web参加も可能）。学校関係者評価委員会設置要綱及び学校評価実施規程、令和2年度学校行事実施状況、令和3年度学校行事予定、自己評価の結果、高等教育の修学支援制度についての報告後、学校関係者評価について協議を行った。

出席者 大澤評価委員ほか4名（内Web参加1名）

- 5月 7日 第2回地域保健委員会をWeb会議として開催。フッ化物洗口推進事業、園囑託歯科医・学校歯科医の名簿作成、フッ化物洗口推進事業タイムスケジュール、フッ化物洗口に係る動画作成のための保育所・幼稚園の写真や動画の撮影について協議を行った。

出席者 北見地域保健部長ほか9名

- 5月12日 令和3年度生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会がWeb会議として開催され、2題の講義の後、令和1・2年度推進校による実践発表が行われた。

出席者 鶴屋理事

- 5月12日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 3

- 5月17日 県リハビリテーションケア学会理事会が県保健衛生会館にて開催され、県総合リハビリテーションケア学会誌の電子化ほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

- 5月18日 第1回茨城県歯科医師会睡眠時無呼吸症ネットワーク会議をWeb会議として開催し、茨城県におけるOSA医科歯科連携、ネットワークの発展、現在、今後の連携の重要性、各地区歯科医師会の現在の連携状況について協議を行った。

出席者 森永会長ほか15名

- 5月19日 第2回社会保険正副委員長会議を開催。第2回委員会、個別指導、疑義、YouTubeによる施設基準研修、審査情報、理事会について協議を行った。

出席者 征矢副会長ほか4名

- 5月19日 第2回社会保険委員会を開催。疑義、YouTubeによる施設基準研修について協議を行った。

出席者 征矢副会長ほか19名

- 5月19日 第1回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会をWeb会議として開催し、令和3年度委員の構成、新たなメーリングリストへの移行、11月28日の講演会、世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業への参画、太陽生命カップ（全国中学生ラグビーフットボール大会）への参加について協議を行った。

出席者 荻野SHPいばらき運営委員長ほか7名



(公社)茨城県歯科医師会 健康フォーラム お口からはじまる健やかな人生 ～歯科衛生士に命を救われた内科医からのメッセージ～

学術委員会 今村 由紀

令和3年4月25日、茨城県歯科医師会館にて「健康フォーラム」が開催されました。健康な生活を送る上での歯科医療の重要性を県民の方々に伝える目的で2年に1回開催されており、毎回水戸の常陽藝文ホールを会場とし、多数の県民の方々にご参加頂いて、講演やディスカッション、ミニコンサートなどを行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今回は、茨歯会員とスタッフのみにWeb配信し、県民の方々にはオンデマンドによるオンライン配信という形での開催となりました。

まず、森永和男会長より挨拶があり、平均寿命と健康寿命との差を縮めるため、歯科から予防医療を発信することの重要性についてお話をされました。



その後、糖尿病専門医で、「糖尿病がイヤなら歯をみがきなさい」著者、西田 亙先生による「お口からはじまる健やかな人生～歯科衛生士に

命を救われた内科医からのメッセージ」と題したご講演がありました。西田先生は、今でこそ「お口の健康が全身の健康につながる」ことを伝えるための執筆活動や全国各地でのご講演をされていますが、12年前までは歯医者が大の苦手で、毎朝3秒しか歯を磨けなかったとのこと。そんな先生がいかにして「お口の手入れが命の分かれ目」と思うに至ったのかを、糖尿病専門医という立場から県民の皆様向けに大変わかりやすくお話いただきました。県民フォーラムは茨城県民に向けたご講演ではありますが、歯科医療関係者にとっても、患者さんへの説明に明日からすぐ使える最新の情報が満載で、また「どう伝えたら患者さんの気持ちに届くのか」を目の前で実演して頂くことができた、大変貴重なご講演でした。



ご講演の前半では、現在の超高齢社会の現状や日本人の「汚口（おくち）」の悲しい現実、そして歯を失うことは全身にどのような影響があるの

か、衝撃的な数字が次々に示されました。

85歳以上の高齢者一人にかかる医療費の年間平均額が100万円、介護費が200万円という現在、昭和38年にはたった153人だった「100歳以上」の人口は、令和元年には7万人、令和2年には8万人にまで激増しています。この現状を西田先生は「経済的子孫虐待」と表現されました。1997年の調査で、日本人の80歳以上の二人に一人は無歯顎であることがわかりました。平成28年の歯科疾患実態調査でも、日本人の80代の最大多数は歯が1本もないという結果になっています。では、歯を失うとどんなことがおこるのでしょうか。健康な人に比べて糖尿病患者は要介護リスクが3.5倍に高まることがわかっていますが、歯が20本以上ある人に比べると、残存歯が9本以下の方の要介護リスクはなんと15倍になるそうです。歯を失うことは、糖尿病よりもはるかに要介護リスクを上げてしまうのです。また、10本以上歯を失った人は10年以内に死亡する確率が5割増し、20本以上歯を失った人は8割増しというデータも示されました。次の世代に負担をかけず、人生100年時代を健やかに過ごすためには、健やかなお口「健口」を残すことがいかに重要であるかがわかります。では、「健口」を残すためには何をしたらよいのでしょうか。それはほったらかしにしないことです。車でも50年ほったらかしにして乗れる車はありません。同じようにお口も、プロによる点検と正しい日常のケアが必要です。そこで出番となるのが歯科医院での定期検診と、歯科衛生士による日常の口腔ケアの指導なのです。

前半の講演の最後には「歯がなくなっても諦めなくて大丈夫」というお話がありました。お口にぴったり合う入れ歯を作ってもらって、しっかりかめるようになれば、歯がほとんど残っていなくても元気に生活できるという具体的な事例をご紹介します。ただし、入れ歯は一度作ったら一生使えるものではなく、定期的に修

繕や作り直しが必要なこと、体の一部の代わりとなる「入れ歯」には、補聴器や人工関節くらいのお金をかけて当たり前だということもお話されました。「日ごろから歯を慈しみましょう。でももし抜けてしまったら、補聴器並みにお金をかけて入れ歯をつくりましょう」というお話で前半のご講演が終了しました。

休憩後の後半では、歯周病とはどんな状態なのか、大人だけでなく子供にも忍び寄っている糖尿病の現状、そして「お口のケアが認知症予防につながる」というお話がありました。

日本国民が歯を失う最大要因は歯周病です。「歯ぐき」は歯に隙間なくぴったりついていることでバイ菌から体内を守る結界になっていますが、お口の正しいケアをせず、歯ぐきに褥瘡ができてしまうとその結界が破れてしまいます。それが歯周病です。自分が歯周病なのかを知るために「リング試験」をしましょうというご提案がありました。家族みんなでリングを齧って、少しでも血がついていたら、それは結界が破られてバイ菌が体内に侵入しようとしているサインです。すぐに歯科医院に行きましょう。誰にでも簡単にできる方法です。

歯周病は体全体に様々な悪影響を起こすことがわかっていますが、そのひとつが糖尿病です。糖尿病の原因は運動不足と高脂肪食、ジュースやお菓子、パンなどの単純糖質の過剰摂取がよく知られていますが、もうひとつ大きな原因があります。それは夕食の「時間」です。平成18年の調査で、40代以下の4割は夜9時以降に食事をしていることがわかりました。遅い時間の食事は消化のために内蔵に大きな負担をかけ、それが糖尿病の原因になると考えられます。「夜7時までに晩御飯を食べたら、お口をピカピカにして朝までお口にチャック」という習慣をつけることが、歯周病予防だけでなく糖尿病の予防にもつながるということです。

糖尿病は、今や大人だけの問題ではありません。2017年に行われた調査で、小学4年生の15%が「糖尿病予備軍」状態であることがわかりました。肥満度は下がっているのに、なぜこのような状況になったのでしょうか。遊ぶ場所がないことによる運動不足、塾や習い事で多忙なため夕ご飯が遅くなることなどが原因として挙げられますが、そのほかに、お口の周りの筋肉が発達していないことが大きな要因ではないかと考えられます。お口を大きく開けられない、ろうそくが吹き消せない、やわらかい食事しか食べられない、飲み物がないと食事を飲み込めないという子供たちが増えていて、お口が動かないことから唾液が出なくなり、その結果味覚が失われ、濃い味付けのものを好む傾向ができてしまっているのではないかと思います。小さなころから歯科医院に定期的に通って、しっかり噛んで顎を発達させることの大切さを学ぶことが出来れば、国の宝である子供たちが将来病気になることを予防することができます。それは、未来の国づくりに繋がるのです。

後半のご講演の最後は、「認知症予防はお口のケアから」というお話でした。日本の認知症患者数は2010年の時点で550万人。2040年には1000万人を超えと言われています。夫婦2人のうち1人は認知症になるという確率です。認知症の予防薬は今のところないというのが実情ですが、2019年、アルツハイマー型認知症の原因は歯周病菌であるという論文が発表されました。歯周病を予防することが、認知症の予防にもつながることがわかったのです。さらに歯周病の薬が認知症予防に効果があることが判明すれば、認知症の未来を変える大きな一歩となることは間違いありません。

令和の時代はお口の健康と全身の健康が繋がる時代であり、歯科医院は人々のお口を守ることで体を鎮め、人々の未来を守る鎮守であると言えます。人生100年時代は健口から健幸へ。そのために必要なのが歯科医療であるというお話で、ご講演が終了となりました。

ご講演後、今湊良証学術部長を座長とし、森永会長、黒澤副会長、西田先生によるディスカッションが行われました。新型コロナウイルス感染症が世界中に広がっている中、疾病予防のためのお口の管理の重要性や、唾液の持つ大きな免疫力について、一般の方々にもっと伝えていく必要があることを再確認しました。また、医科歯科連携を円滑に勧めるための方法として、歯科から他科への紹介状に口腔内写真を添付して欲しいという西田先生のアドバイスがありました。会場の歯科衛生士からの「どうしたら患者さんに伝えやすい説明ができますか」というご質問には「なるべくカタカナ言葉を使わずに大和言葉を使うように心がける」というお答えがありました。「オーラルフレイル」を「口弱（くちよわ）」と言い換えるなど、高齢者にもわかりやすい表現を取り入れることがよいそうです。

今回の健康フォーラムは1週間のオンデマンド配信期間中の視聴数は500回を超え、県民の皆様に大きな関心を持ってご参加頂けました。Webによるオンデマンド配信という形は、新型コロナウイルス感染拡大というやむを得ない理由ではありましたが、会場への当日参加が難しい方でも、配信期間中のご都合の良い時間に何度でも見て頂けるという利点もあったかと思います。今後も県民の方々に有意義な情報を発信できるよう努めていきたいと思っています。

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルファー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険（団体定期保険）

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社)日立歯科医師会 滝 靖宗

会 員 数

令和3年4月30日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	114
珂 北	145
水 戸	155
東西茨城	72
鹿 行	101
土浦石岡	179
つくば	136
県 南	175
県 西	153
西 南	104
準 会 員	6
計	1,340 0

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,136名
2種会員 73名
終身会員 125名
準 会 員 6名
合 計 1,340名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和3年6月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。